

ひやまファイヤーマン教室レポート

平成23年9月6日(火) / 江差中学校



全学年を対象とした通常の避難訓練内容を改善し、地震・津波等の災害を想定した誘導訓練を行なった。各避難路に職員6名を配置し、避難を促す緊急放送後、各所の指示に従いながら迅速な移動を行なった。教員の適確かつ安全な指示内容やそれらに準じた動きの確認も行なった。



避難訓練後には、「東日本大震災・緊急消防援助隊」での活動(講話)を、被災地・石巻市へ派遣された、江差消防署・小田島司令補から行なった。参加生徒数166名/教員20名。今年度から実施している「ひやまファイヤーマン教室」も、今秋10月末までには、檜山管内全7町すべてにおいての開催となり、各町教育委員会・学校・PTA等の率先した災害対策への動きがみられた。従来とは違った大災害を想定した避難訓練や消防署員のプロフェッショナルな指導等を熟知し、生徒ひとりひとりが大災害から避難するプロフェッショナルへと成長することを願います。
<江差消防署>